

# けやきセミナー teacher's 版 No.1



## ○ 多文化教室って？

火曜日の放課後、北37、在県生徒のための日本語指導および定期テスト前の補習を行っているところです。多文化コーディネーターの3名が来校されて、日本語指導をしています。N1、N2、N3 ってご存じですか？

私は、橋本高校に赴任して初めて知りました。N1 は日本語検定試験1級のことです。橋本高校の在県生徒の多くが、N3から受けはじめ、大学進学を目指す生徒はN1 ぐらいの日本語の実力がないと受験できないとのことです。

1学期の期末テストの際には、多くの先生方が、多文化教室で補習をされていました。採点で忙しいにもかかわらず、生徒のためにとがんばっている先生方の姿に感動しました。



## ○ 日本で生活する外国人は増加している!

2019年現在、日本で生活する外国人は約293万人にまで増加し、コロナ禍とはいえ、今後も日本で生活する外国人は増えていく見込みです。これまで、学齢の外国人の子どもたちの保護者については、学校教育法第16条により、就学義務は課されていなかったそうです。しかしながら、2019年6月、日本語教育推進法が成立したことより、

ようやく「外国人の子どもが教育の機会を逸することがないように教育委員会が就学等の案内をするように」と文部科学省が指針をだしたそうです。外国人の保護者に就学義務があると思っていました。今回の指針では「外国人の子どもが社会で自立していくためには、高等学校等において適切な教育を受けることが重要である」としています。

現在、日本語指導が必要な小中高の生徒数は過去最高の約5万人強で、その2割が日本語指導を受けていないそうです。



## ○ 火曜日の放課後、多文化教室を一度訪れてみてはいかがでしょうか？

生徒同士の学びあいの姿に教育の原点を感じます。

令和2年度キーワード…「組織化」「共有・協働」「探究」「ユニバーサルデザイン」「チャレンジ」

CHALLENGE…各自の目標を見つけ、それに向かって自らの能力や適性を伸ばし、挑戦し続ける

INDEPENDENCE…民主社会の担い手として、優れた判断力と強い責任感を備えた人物を育てる

GLOBAL…国際社会の一員としての自覚を持ち、自国の文化や習慣を大切にすると同時に、他国の文化や習慣を理解できる人間に育てる